

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
千歳市	病院事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

これまでの当院の経営状況については、「市立千歳市民病院改革プラン」(H21～H24)の着実な実行により、平成22年度から平成25年度まで4年連続での黒字決算を達成している。平成26年度に行われた会計制度改正の影響等もあり、平成26年度から平成29年度まで赤字決算となったものの、「中期経営計画[改訂版](H26～R2)」で策定した取組を着実に実施することにより、平成30年度には5年ぶりの黒字決算を実現している。令和元年度からは新型コロナウイルス感染症の影響等により、患者数が減少し厳しい状況が続いているものの、新たなコスト負担や職員の処遇問題、さらには地域医療の継続性など予測されるリスクを負って経営形態を変更する段階にはないと判断し、現時点においては、現行の経営体制と手法を継続することとし、令和5年に策定した「市立千歳市民病院経営強化プラン」の取組を進めているところである。

しかしながら、近年の物価高騰や急激な人件費上昇の影響などにより、これまでにない厳しい経営環境となっているため、次期の診療報酬改定や新たな地域医療構想など、今後、国や北海道が示す政策に適切に対応しながら、さらなる経営改善策を検討する必要があると考えている。